

# 保育者のためのパソコン教室

仁愛女子短期大学 准教授 田 中 洋 一  
准教授 乙 部 貴 幸

## 1. はじめに

情報通信技術（ICT, Information and Communication Technology）の発展・普及は、未だ急速な勢いで進んでいます。保育の現場でも、教材や文書の作成、各種データの管理に活用されています。本講座では、保育現場での代表的な活用例である園だよりの作成・園児データなどの管理を通して、参加者がICT技術に親しみ、業務効率の向上に繋げることを目的としています。

## 2. 開催日および受講者数

今年度は、教員免許状更新講習などにより夏期の講座が増加したため、下表のように秋季の開催となりました。

コース	開催期日	受講者数
第1回 (中級)	平成22年11月20日(土) 9時～16時	23名
第2回 (初級)	平成22年12月4日(土) 9時～16時	16名

第1回は中級者向けとして「エクセルを使ってデータを管理しよう」、第2回は初級者向けとして「園だよりを作ろう」と題して講習を行いました。第1回は乙部、第2回は田中が担当し、それぞれにおいて情報メディア教育支援室スタッフ、生活科学学科生活情報専攻の学生数名がアシスタントを務めました。

## 3. 講座の内容

2010年度の仁愛女子短期大学の情報演習室の環境は、Windos 7とMicrosoft Office 2007でした。2011年度からOffice を2010へバージョンアップする予定です。しかし、本講座の趣旨として、機能面では過去のバージョンのOfficeでも実現可能な内容を極力使用

しています。

## 第1回 「エクセルを使ってデータを管理しよう」 (中級者対象)

ワードなどワープロソフトの基本操作ができる方を対象に、エクセルを使って表計算ソフトの基本的な使い方を学びました。



### ① 表を作る

行事予定表の作成を通して、表計算（セル、行、列など）の概念、データ入力の方法、セル等の書式設定、連続データ作成（オートフィル）の方法を説明。

### ② データを集計してグラフを描く

エクセルの計算機能、関数機能、グラフ作成機能。

### ③ データベースを作る

名簿を作成し、特定の条件によるデータの並べ替えや抽出。

### ④ データベースを利用した文書を作成する

エクセルで作成した名簿データとワードの差し込み印刷機能を利用して、「個人別身体測定結果報告書」を作成。手紙の宛名印刷の練習。

## 第2回 「園だよりを作ろう」(初級者対象)

園児の様子、行事の記録、園児の作品などの写真をお便りに利用してみたい方を対象に、ワードを使用して、かわいいイラストや文字、表入りの園だよりを作成しました。



### ① 文字を入力してみよう

保育現場で喜ばれる、かわいいフォントを用いた文字入力。おすすめフォントサイトや文字入力方法の紹介。

### ② お気に入りのイラストを探してみよう

ホームページの検索エンジン（googleやyahoo!など）を用いた画像検索や地図検索。クリップアートの利用。おすすめ無料画像サイトからの画像ダウンロード。

### ③ 写真をちょっと加工してみよう

デジタルカメラで撮影した写真のパソコンへの取り込み。ワードを用いて、トリミング、明るさ・コントラストの変更、図のスタイルでフレーム等の付加。

### ④ イラスト・写真・表を用いた園だよりを作成しよう

ワードアートでタイトル作成。他のWord文書からの文章の挿入。表の作成。図形やテキストボックスへの文字入力。段組やページ罫線の活用。完成した園だよりの印刷とCD-Rへの保存。

## 4. おわりに

第1回の受講者数は23名、第2回は16名でした。それぞれ、昨年度から微減しています。ICTの普及が進んできたことの1つの証左といえるでしょう。

アンケートの結果、各コースの全体的満足度について、6割前後の方に「満足」「やや満足」と答えていただきました。反面、第1回に関しては、講師の力量不足のため「やや不満」とのご回答もいただき、今後講習方法・内容を改善していきたいと考えています。

	不 満	やや不満	ふつう	やや満足	満 足
第1回	0.0%	13.6%	27.3%	22.7%	36.4%
第2回	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%	50.0%

「今後取り上げて欲しい内容」については、動画の取り扱いに関するニーズが高まっているようです。他にも、会計表や月案・週案の入力・作成、音楽CDの作成など、様々なご要望をいただきました。その反面、講習会途中の様子を見ると、受講者のICT活用力が二極化していると感じます。

今後、講習内容をニーズに合わせていくとともに、その具体的内容をより詳細に地域活動実践センターのHPにて掲載していくなど、より明確なターゲットングを図ることが必要だと考えています。